

令和7年度 アオコ情報（河川 No. 3）

7月17日に実施した調査の結果についてお知らせします。

- フィコシアニン濃度^{※1}は、新川、備前川及び土浦沖合がアオコレベル0相当^{※2}でした。

新川、備前川及び土浦沖合のアオコレベル

<新川>

- ・ 神天橋、新港橋及び新川河口沖でアオコレベル0相当(フィコシアニン濃度:< 5~38 µg/L)でした。

<備前川>

- ・ 岩田橋、竹中橋及び備前川河口沖でアオコレベル0相当(フィコシアニン濃度:< 5~37 µg/L)でした。

<土浦沖合>

- ・ 土浦沖合①及び土浦沖合②でアオコレベル0相当(フィコシアニン濃度:33~45 µg/L)でした。

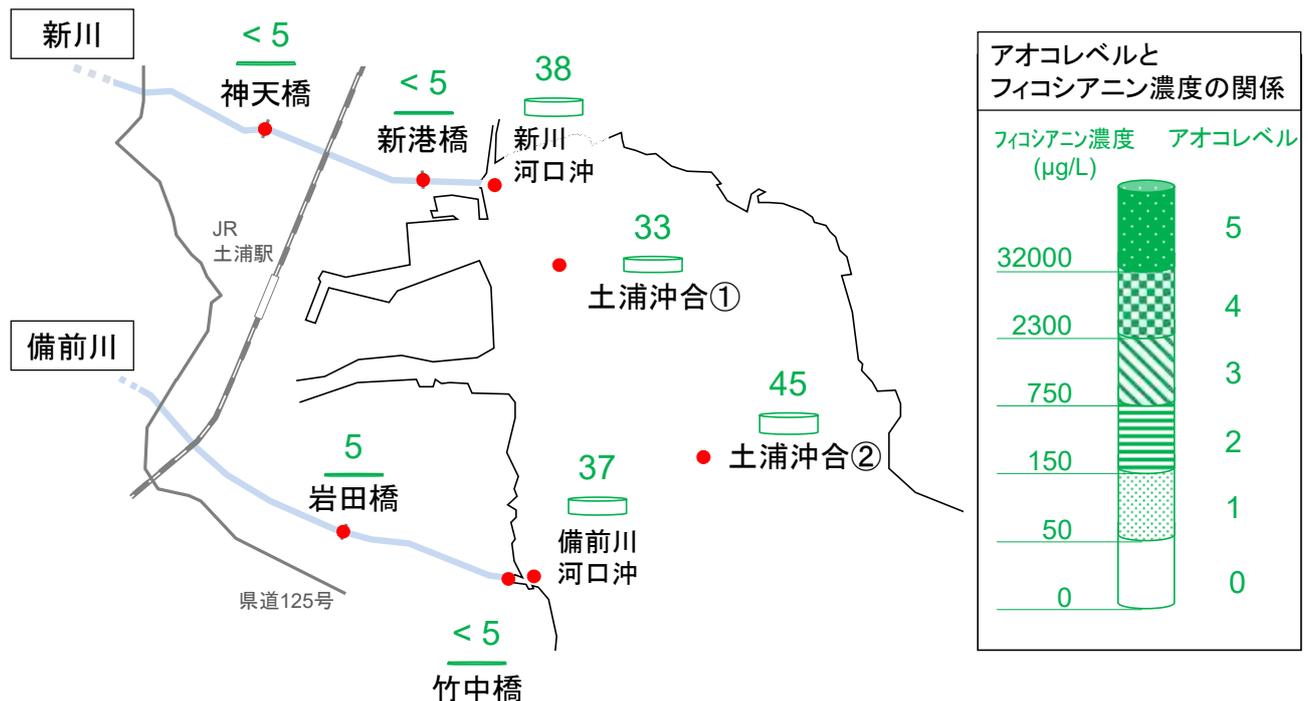


図1 フィコシアニン濃度の分布

※1 フィコシアニン

アオコの原因となる植物プランクトン（藍藻類）に含まれている色素です。フィコシアニン濃度はアオコの現存量と一定の相関があるため、アオコ現存量の目安になると考えられています。

※2 アオコレベル

アオコの発生状況を視覚的に把握するための指標です（参考：国土交通省霞ヶ浦河川事務所 HP：<http://www.ktr.mlit.go.jp/kasumi/kasumi00313.html>）。フィコシアニン濃度は、アオコレベル1で50 µg/L程度、アオコレベル2で150 µg/L程度、アオコレベル3で750 µg/L程度、アオコレベル4で2300 µg/L程度、アオコレベル5で32000 µg/L程度です（小日向ら、2012）。各レベルの写真は、別紙に掲載しています。

● 調査結果の詳細

表 調査結果

	新 川			備前川			土浦沖合	
	神天橋	新港橋	河口沖	岩田橋	竹中橋	河口沖	①	②
採水時刻	7月17日							
	11:07	11:28	9:55	11:50	12:05	9:12	9:37	10:04
水温(°C)	29.0	29.5	28.5	30.3	30.6	28.0	28.1	28.0
pH	8.1	7.8	8.6	8.7	8.0	8.6	8.4	8.8
EC (mS/m)	20.4	16.6	27.8	12.9	11.7	24.8	28.3	25.4
透視度 (cm)	33	46	26	31	32	24	21	23
フィコシアニン (µg/L)	<5	<5	38	5	<5	37	33	45
クロロフィルa (µg/L)	39	14	28	12	9	35	35	41

● (参考) アオコレベル

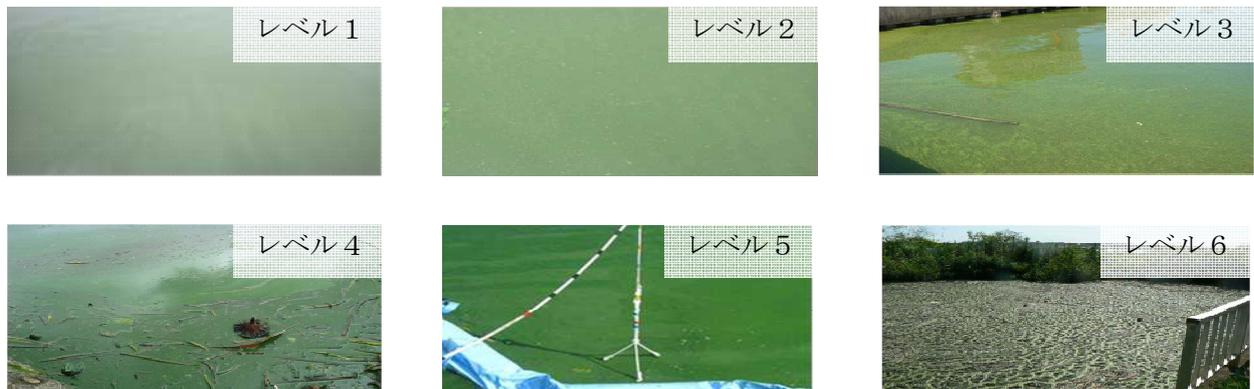


図2 アオコレベル